授業風景

フェアトレードを学ぶ

本科３年生「体験」の授業は、「店舗経営」という科目でおこなっています。

現在は「せいうん長商ふれあい祭」での模擬店実施に向けて、商品の仕入れや打ち合わせなどに時間をかけています。

そんな中で今回は、フェアトレード商品についての講演をしていただきました。お世話になったのは、「アジア女性自立プロジェクト（ＡＷＥＰ）」の代表理事をされている奈良雅美様です。フェアトレードの意味やアジア各地の生産者の様子などを中心にお話しいただきました。

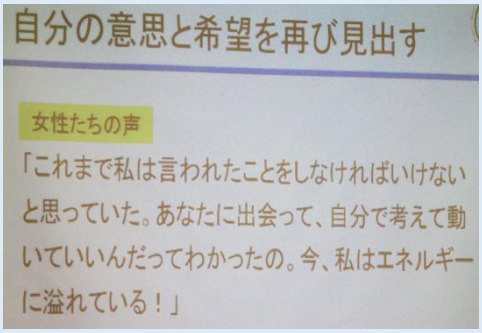
奈良様は、取引をおこなう上での「フェア＝公平」とは、生産者が正当な利益を得ることなのだということを丁寧にわかりやすく説明されました。同じアジアで暮らしているフィリピンのシングルマザーの背景や、世界の中でも貧困国の上位といわれるネパールなどで、今でも続いている人身売買の実態を知って、生徒たちはとても驚いた様子でした。その後、生徒たちから「文化祭の模擬店でフェアトレードの商品を取り扱いたい」との声が自然とあがりました。

生徒たちが感じたフェアトレードのあり方を、文化祭では多くの人に伝えてほしいと願っています。

奈良様の説明に生徒たちは、熱心にメモをとりながら聞き入っています。

奈良様たちは、アジアの女性たちの生活が安定するようにと毎日活動しています。

エベレストの麓の国であるネパールの人たちが経済面で恵まれていないことがよくわかりました。



自分で考える自由のすばらしさへのメッセージには思わず心が熱くなりました。

立場的に弱い人たちにとっては、いくら作っても見合ったもうけが手に入らないことが横行していることは、以前からありました。ところが、こんなに豊かになった現代でも、世界を見渡せば、大きな経済格差がまだ残っていることはとても残念なことです。

長田商業からフェアトレードを発信して、生産者の方たちの心がこもった製品を、来ていただいた方々に紹介したいと思います。ふれあい祭は、１１月３日（日）の文化の日です。ぜひ長商にお越しください。